施策番号	1002		
施策名	**環境や社会に貢献できる農林業の育成**		
概要	資源循環型産業として環境や社会に貢献するとともに，観光資源につながる農林業・農山村の魅力創出を図るなど，農林業の持つ多面的機能を生かした地域づくり・人づくりを進める。		
担当局･部室	産業観光局・農林振興室	共管局･部室	
上位政策	10　農林業		
施策に関係する主な分野別計画等	京都市農林行政基本方針		

施策の評価

1　客観指標評価

	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	間伐面積（スギやヒノキの人工林における間伐面積）（ha/年）	a	b	685	597	953	62.6%	b	1.00
2	「京の旬野菜」供給量（t）	a	a	10,806	10,868	10,878	99.9%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		**a**	**a**					**a**	

2　市民生活実感評価

	設問	平成30年度	令和元年度						令和2年度※
			評価	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	
1	京都の農林業は，環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備を通して，地域社会に役立っている。	c	c	31 5.4%	138 24.1%	302 52.7%	75 13.1%	27 4.7%	573	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		**c**	**c**							**-**

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	B	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている

重み付け		
	☑ 客観指標	環境に負荷をかけない栽培を増やすための取組や森林の整備等は，市民生活において実感しにくい施策であり，客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えるため
	☐ 市民の実感	

＜原因分析＞

客観指標総合評価

☑ ｂ評価以上であり，施策の効果が客観指標に表れている。

☐ ｃ評価以下であり，次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

☐ ｂ評価以上であり，施策の効果が市民の実感に表れている。

☑ ｃ評価以下であり，次の原因が考えられる。

・農林業による環境への負荷を抑制する効果が，市民生活において実感しにくい面があるため，ｃ評価で推移していると考えられる。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況（千円）		令和2年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		令和元年度決算額	令和2年度予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

＊予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・水源涵養機能，二酸化炭素吸収源，環境負荷抑制効果など，農林業が持つ多面的機能を市民に伝えるとともに，農業用水路に治水機能を付加し，雨に強いまちづくりを推進する。

・地域特産物の育成を通じて，農山村の活性化や新たな収入源の確保につなげていく。

・食文化や景観といった，本市の魅力を支える産業としての農林業の重要性について，広く発信していく。

・近年の大型台風による集中豪雨やゲリラ豪雨等の増加に対して，適正な森林整備が山林の災害を防ぐ効果があることを広く発信していく。

施策名	1002	環境や社会に貢献できる農林業の育成

指標名	間伐面積（スギやヒノキの人工林における間伐面積）（ha/年）

担当課	林業振興課	連絡先	２２２－３３４６

１　指標の説明

本市のスギやヒノキの人工林における間伐面積

２　指標の意味

社会や環境に貢献できる農林業の機能発揮に向けた，環境保全等の公益的機能の確保状況を示す指標

３　算出方法・出典等

出典：京都府林業統計

４　数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	685	597	88ha減	953	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成21年度現況値（535ha）と京都市農林行政基本方針の目標数値（令和元年度1,000ha）から各年度の目標数値を等差的に算出	62.6%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値	-	1,000	令和元年度	59.7%	京都市農林行政基本方針

備考	算定に用いるデータの収集期間の関係から，平成30年度値が最新となる。

５　評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

６　基準説明

当該指標については，社会経済情勢及び自然環境条件の影響度が高いことから，80%以上をａ，以下20%刻みで基準を設定した。

７　評価結果

平成30	令和元	令和2
a	b	b

指標名	「京の旬野菜」供給量（t）

担当課	農林企画課	連絡先	２２２－３３５１

１　指標の説明

京の旬野菜認定生産者による，フードマイレージの低い農産物の生産量
（フードマイレージ：食料の重量と輸送距離を掛けて得られる指標）

２　指標の意味

社会や環境に貢献できる農林業の機能発揮に向けた，環境負荷の抑制状況を表す指標

３　算出方法・出典等

事業担当課調べ

４　数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度
数値	10,806	10,868	62t増	10,878	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成20年度現況値（9,657ｔ）と京都市農林行政基本方針の目標数値（令和元年度11,000ｔ）から各年度の目標数値を等差的に算出	99.9%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値	-	11,000	令和元年度	98.8%	京都市農林行政基本方針

備考	算定に用いるデータの収集期間の関係から，平成30年度値が最新となる。

５　評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

６　基準説明

当該指標については，農業者の寄与度が高いことから，80%以上をａ，以下20%刻みで基準を設定した。

７　評価結果

平成30	令和元	令和2
a	a	a